
S以上M未満

嘉弥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S以上M未満

【Nコード】

N9579F

【作者名】

嘉弥

【あらすじ】

DSな男の子と純粹な女の子のドタバタ青春ラブストーリー！！

プロローグ

あたしは、ずっとそうだった。どうせ、誰かが見つけてくれる。どうせ、誰かが幸せにしてくれる・・・。
なのに・・・。
こんなに早く、
自分の運命が変わっていくなんて、思ってもみなかった。

Story 1

あたし、中島海亜！！

高校1年生になったばかりです。

あたしには、最大にして最低の悩み事があります。それは・・・頭が悪い事。あたしの平均偏差値は最高でも40をこすかこさないかそんなあたしの行ける高校なんて限られている。あたしは必死で勉強し、なんとか高校に入学する事ができた。バカなあたしは、入学式当日にこの学校の最大の問題を聞く事になるのでした。入学式当日、あたしは通常通り学校に行った。すると後ろから、聞き覚えのある声が出た。“海亜ー！”小さい頃からの幼なじみ、田口美奈たくちみな。しっかりとて、あたしの事は全部知ってる。お姉さんみたいな感じ。入学式当日、あたしは通常通り学校に行った。すると後ろから、聞き覚えのある声が出た。“海亜ー！”小さい頃からの幼なじみ、田口美奈たくちみな。しっかりとて、あたしの事は全部知ってる。お姉さんみたいな感じ。書き忘れていましたが、中島海亜は“なかじまみあ”と読んでください。

“美奈！！おはよー。クラス一緒だといいいね。”あたしは頻繁に美奈と連絡を取っていたので、高校が一緒なのも知っていた。

“ほんとだねー。うちのレベルじゃほぼ男子校に近いこの学校でも、行けただけましだよねー。”

(はひ？今何て・・・)

“もー美奈ー。冗談キツイよー！！あたしがいくらだまされやすいからってそんなのは信じないよー。”

“えっ？美奈もしかして・・・去年までこの学校が男子校だったって、知らないの？”

(はいー！ー！？)

軽く説明すると・・・

1 この学校は、去年まで男子校だった。

2 今年入った人数300人に対し女の子の人数はなんと80人。

3 しかもここは平均偏差値45という私でも入れる超おバカ校。素行そこうがいい訳がない。

という訳である。

“ そんなの知らないよ。ただでさえ16年間彼氏もできた事ないのに・・・男子校って。”

“ 海亜はめっちゃめっちゃ美人なのに、告白全部断っちゃうからじゃん。”

海亜はすごい美人です。 “ だってさー、みんなあたしの性格知らずに告白するんだもーん。絶対やだよー。”

“ まあねー。あつー！いい機会だしー、この学校にいる間に彼氏つくるっていうのは??”

“ えー、まあーできたらね。” あたし達は、こんな会話をしながらクラス発表の場所へ行った。

衝撃

海亜

幸運にも海亜とは同じクラスだった。

“ やったね、海亜ー！！同じクラスだ。” “ 本当だー。これから1年また、よろしく 笑” あたし達は、指定された教室に移動した。教室に来たあたしは、驚いてしまった。(本当に男の子だけなんだー。なんか変な感じ。) チャイムが鳴って先生が来た。(なんかオドオドしてるけど・・・気のせいかな??) “ 今日これで終わりなので、すみやかに下校してください。”

(はひっ?なんで入学式がないの??てゆうか、普通この後自己紹介とかしない??) あたしが驚いていると、美奈が来た。

“ ねえ!!なんで入学式がないの!?この学校おかしいよ!!” (あつ・・・) あたしは、つい大きい声で言ってしまった。(美奈すごい困ってる。) でも・・・そんな焦んなくても、普通に思うよね??すると、後ろから声が出た。 “ おいっ、うっせーぞ!?そこ
の凡人!!”

あたしは、驚いてすぐに振り返った。(何なのこいつ、エラーソーに
……。でも、カッコいい……。)あたしは気付いたら、そいつに言
い返していた。“何なのあんた!?何様のつもりよ。だいたい、あ
んただって凡人じゃない!”こう言うと、そいつは不気味に笑っ
てこう言った。“ふーん、お前俺の事知らないんだ!”

“知るわけないでしょ!?あんたみたいな超わがまま男なんっ!?
”あたしの話の途中で、そいつはあたしを持ち上げた。“な、何す
んの!?降ろしてよ!!!”

“あつ、名前言い忘れてた。俺、海斗。よろしく!!”(あたしの
事は無視!?)

“後は頼んだぞ。”こいつは、男子5人ぐらいにそう言い残してあ
たしを持ち上げたままだこかへ行きだした。これから何をされるの
か、正直……。めっちゃめっちゃ怖いー!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9579f/>

S以上M未満

2011年1月13日06時53分発行